

● 相原地区資源ごみ処理施設連絡会（第1回）でのご意見・ご要望

議 題：第1回 相原地区資源ごみ処理施設連絡会

日 時：2013年10月19日（土）18時～19時30分

場 所：都営武蔵岡団地 第二集会所

出席者：委 員／青木宏之委員、江田龍巳委員、井上正行委員、平山富士雄委員

参考人／井川光夫（相原町大戸町会長）

事務局（町田市）／

内山重雄 環境資源部長、田後真人 循環型施設建設担当部長

古木環境資源部次長、新海環境政策課主査、水島循環型施設整備課長、

窪倉3R普及担当課長、田中3R推進課担当係長、山田資源循環課長、

高田循環型施設整備課担当係長、深澤循環型施設整備課担当係長、

柳川循環型施設整備課主事、久保循環型施設整備課主事、

コンサルタント（日建設計）／

金井担当、小平担当

傍聴者：4名

議題1：地区連絡会について

意 見	回答・今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> 意見の結果の公表はホームページでとのことだが、ホームページは万能ではないし、常に見ているとも限らない。別の広報の仕方についても検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 御指摘のとおり、ホームページはご覧になっていない方もたくさんいらっしゃいますので、なるべく多くの手段を使って、一般にお知らせしていきたいと考えております。

議題2：循環型施設整備計画について

意 見	回 答
<ul style="list-style-type: none"> 2020年度までにごみ量を40%削減ということだが、現状、40%の削減を達成できている自治体はあるのか。また、40%という数値が高いのか低いのかもよく分からない。 バイオガス化を行うなども合わせて、現状の技術で実現可能な数値なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 資源化施設を作る際には、施設規模の決定のために、資源化協力率というものを設定します。多くの自治体では50%でみています。 40%削減はかなり高い数値ですが、今後のごみの減量を鑑みて、市民の方にご協力いただきながら、この程度の数値までは持っていくという方向性で市は考えております。 <p>⇒本日、資料を用意しております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 生ごみの発生抑制目標が5000トン減となっており、割合が高い。技術的な問題というよりも個人の意識の問題であり、かなり努力しないと（達成が）難しいように感じる。 既にかかなりの市民が生ごみ削減を実践していると思う。生ごみの水切りは現在でも十分に行っており、さらに圧縮するには各家庭に圧縮機のようなものがないと難しいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> かねてより、具体的なごみの減量方法や大型生ごみ処理機について、町内会や自治会に出向き、説明しております。 集合住宅では、大型生ごみ処理機を、家庭向けには家庭用生ごみ処理機を、補助金制度も併せて説明して、減量化についてご説明しております。

議題2：循環型施設整備計画について（前ページのつづき）

意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> 2011年度からの基本計画検討委員会の委員の選定はどのように行われたのか。その時点で、町内会、連合町会の方に話があって委員を推薦しているということか。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画検討委員を各地区から選定する際には、候補地については白紙でした。 (検討委員の構成は) 市民代表という形で町内会・自治会連合会長から推薦いただいた方と、公募の3名、学識経験者、事業者の方の、計19名でした。 市の西側エリア(堺地区)からは小山地区の方に委員として出席していただきました。
<ul style="list-style-type: none"> 相原地区に資源化施設を作る話になっているのに相原地区の人は委員に入っていないかったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画検討委員会を立ち上げる際には、まだ候補地は白紙の状態でした。 1次から3次と候補地選定を進めていく中で相原が候補になりましたが、候補地になった地区の代表に委員を変更するという進め方はできないため、委員会の終了まで、相原を含めた堺地区の委員は、小山地区から選出された方であるという状態になりました。候補地となった他地区についても、同様の対応で委員会を進めました。

議題3：これまでに頂いている意見の紹介

意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> (連絡会発足前の) 意見としては、ガードレールなど、道に関する要望が多いように思うが、資源ごみ処理施設へはどこから進入するのか。 	⇒今後、ご意見を踏まえ検討いたします。
<ul style="list-style-type: none"> 有害ごみ保管場所という表現は、誤解を与えるので、乾電池、蛍光管等保管場所など表現を注意した方がいい。 	⇒貴重なご意見ありがとうございます。今後、ご意見を踏まえ対応いたします。
<ul style="list-style-type: none"> 様々な意見要望が出ているが、これら建設に当たっての対応は、いつどのように行うのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たに出てくるご意見についても、市役所の中に設置された「推進本部」において、検討して方向性を出していきます。今後も、自治会・町内会からのご意見は集約していきます。 ⇒本日、資料を用意しております。

議題4：今後のスケジュールについて

意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> 委員は人が替わってもよいのか、それとも継続の方がよいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 任期中に替わる理由があれば、それも考えられます。また、任期終了後には、次の方に引き継いでいただくことも、継続して頂くことも可能です。
<ul style="list-style-type: none"> ワークショップは住民が参加しやすいよう、日曜日で開催願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> なるべくご希望に沿えるよう、早目に日程調整を行い、皆様にご出席いただけるよう配慮致します。